

□議員名：吉永美子

1 現代ガラスの取り組みについて

論点	「ガラスのまち山陽小野田」を教育委員会だけでなく、市の横断的な取り組みにより、県内外にもっと発信すべきではないか。
回答	全く同意見で、内部で問題提起をしている。全国に強烈な印象を与えるため、「現代ガラス展 in 山陽小野田」の名称の見直しや運営形態など、もう少し原点に戻って考えようと、今準備を進めつつある。

論点	歌舞伎の鑑賞と合わせ、現代ガラス展を見せることについて、全小中学校が参加するわけではないとしたら、それは残念ではないか。
回答	基本的には学校から希望を挙げてもらっている。学校の行事予定等の中でどうしてもかなわないところがあるかもしれない。学校の子どもに対して、なかなか強制が難しいことは理解願いたい。

2 環境問題について

論点	「緑のカーテン事業」について、取り組んでいる公共施設が去年は24施設との回答だったが、今年は13施設に減っている。市役所正面で取り組み、本市のアピールをすべきではないか。
回答	市役所は食堂のところと、監理室のところで行っている。庁舎の中でどういうところができるかということについては、本庁管理の部署と協議したいと思うが、公共施設でもどんどん取り組んでいければと思っている。

論点	環境教育としての効果が期待できる「緑のカーテン」について、小中学校での取り組みは進んでいるのか。
回答	高千帆、小野田、須恵の3小学校が教育委員会も協力しながら先進的に取り組んでいる。有帆小学校が自主的に取り組み、3年連続して市の緑のカーテンコンクールで最優秀賞を受賞している。他の小中学校においても、実践的に環境教育を行うため、緑のカーテン事業に取り組む学校が増え始めている。

3 障害者支援策について

論点	福祉タクシー制度については、自家用車の方は利用できないことから、福祉タクシー利用券か、自動車燃料助成のどちらかを選択できるように、支援策を拡充すべきではないか。
回答	選択制でガソリン代の助成を行っている自治体も多々あるようだが、取り扱いもいろいろ違うようだ。県内外、他市、町の状況あるいは利用見込み、事業効果等を今後、調査・研究していきたい。

論点	「障がい福祉のしおり」作成について、電話番号案内サービスの104について、該当者が登録すれば通話料が無料になる情報が載っていないなど、内容に抜けがある実態から、更新の際、他部署に情報提供の呼びかけをすべきではないか。
回答	指摘のとおりである。各部あるいは市が関与していない部分にまでいろいろ調査をかけて、なるべくたくさん情報が載るように、今後も努力していきたい。

4 子どもや若者支援を総合的に行うために

論点	平成21年7月に「子ども・若者育成支援推進法」が成立した。この法律に基づき、協議会を立ち上げ、複数の機関と連携し支援を強化すべきではないか。
回答	とりあえず6月の庁議のテーマの一つとして、みんなで一緒に考える。具体的な問題については、勉強会を経て少しずつ考えを練っていく。もう少し時間をいただきたい。

5 通学路の安全対策について

論点	登下校中の児童を巻き込む交通事故が相次いだ。以前提案した「カラー舗装」について道路管理者と協議し、安全対策をすべきではないか。
回答	警察、道路管理者、学校、教育委員会が一緒になって、どういった対策がいいのか考えていきたい。その選択肢の一つとしてカラー舗装もあると考えている。

6 母子の歯の健康を推進する取り組みについて

論点	妊娠中は口の中が不潔になり、虫歯や歯周病にかかりやすいとの話を歯科医師から聞いたが、妊婦健診に歯科検診を追加し、母と子の歯の健康を守るべきではないか。
回答	妊婦健診に歯科健診を追加することは歯科保健には有効と思われるが、各種予防事業において予防接種の定期化の種類が増加するなど、市費による単独事業が増える中、法定外の歯科健診事業をすぐに導入することは困難と考えている。

論点	資料によると、本市においては、中学校になると虫歯になった経験のある歯の数が県内他市町と比較してダントツに多いが、その状況について原因をどう考えるか。
回答	学校において、歯の定期健診は行っている。そこで指示された子どもたちがちゃんと歯の治療等を受けているのかはよく確認していないが、ひょっとしてきちんと事後の治療等まで行っていない子どもがいるのではないかと思う。調べてみたいと思う。